

9月24日 生徒たちのすてきな姿があふれた

最初の体育大会

三連休明けのこの日、瑞浪北中学校最初の体育大会が行われました。当初の予定より三日遅れの実施でしたが、生徒たちのモチベーションは高く、朝のさわやかな風がやる気を一層駆り立てました。

開会式の選手先生では、三つの団の団長それぞれがこれまでこだわってきた団の取り組みを堂々と述べ、全力で闘うことを誓いました。

最初の競技の各学年の学級対抗リレーでは、それぞれが立てた作戦や走順がドキドキハラハラのレース展開を生み出しました。団席はもちろん、観客席や来賓席からも大きな声が聞こえ、開始早々最高潮の盛り上がりを見せました。点数は団に入るといっても、やはり気になるのは学年の順位。どの学級も男女混合で必死になって走りました。



団長たちの選手宣誓



2年生の学級対抗リレー

ました。どの団もどの学級も一つになって、声を掛け合い、心をそろえて必死にと取り組みました。けがで教師には参加できなかった生徒も仲間の近くに駆け寄り、大きな声援を送っていました。

「全員で」「一人一人を大切に」ということは、運動が苦手な仲間、消極的な仲間のレベルを、他の生徒と同じレベルに引き上げることはありません。「苦手と

そんな中、2年生のリレーでは、走ることにやや消極的だった生徒が、仲間と同じ分だけ走り学級や団に貢献しました。順位も気になるところですが、全員がリレーに参加し走破できたことには大きな価値があります。勝負に一喜一憂し、全員で取り組めたことに満足できた素晴らしいひとときでした。

学年種目や大縄跳びでは、これまでの練習の成果を生かして闘い



3年生の多人多脚



1年生の大縄跳び

大会後の解団式でも、運動の得手不得手の違いはもちろんこと、学年の違い、男女の違い、立場の違いなどを認め合った上で、全員で満足感を共有しました。

悲しい思いやつらい思いをする仲間を出さなかったすばらしい体育大会でした。

今後はこの縦のつながりを決して消滅させることなくずっと続け、日本一の学校と呼ぶにふさわしい北中を作っていこう！

思っている生徒、消極的な生徒にどれだけやる気をもたせ支えるか。そして、全体としてやりきった満足感を共有することだ」とわかりました。



白団の解団式